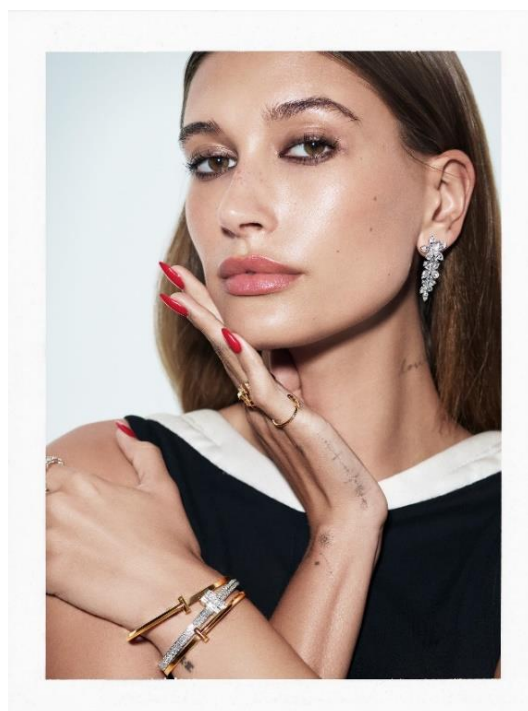


TIFFANY & Co.

ティファニー・ジャパンPR
東京都千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル15F
03-4567-4518
JapanPR.Tiffany&Co@Tiffany.com

ティファニー、ヘイリー・ビーバーを起用した2022年のホリデー キャンペーンフィルムを発表

アンディ・ウォーホルのアイコン的な「ファクトリー」が豪華絢爛な祭典の舞台に生まれ
変わります

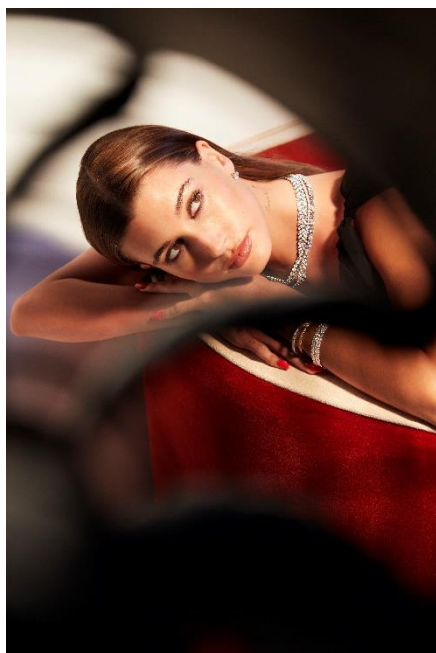


ティファニーは、ヘイリー・ビーバーを起用した「ティファニー×アンディ・ウォーホル」ホリデーキャンペーンフィルムを発表いたします。ニューヨークを舞台にウォーホルの伝説的な「ファクトリー」にて、彼のホリデーシーズンに対する愛へのトリビュートとして制作された同フィルムは、マリオ・ソレンティが撮影し、レイモンド・メイヤーが写真を担当。眩い輝きを放つダイヤモンド、ティファニーブルーボックス、そして自由なアティチュードに満ちた壮大なパーティーシーンで、ホリデーシーズンを盛り上げます。

「今年のティファニーのホリデーシーズンは、アンディ・ウォーホルをフィーチャー。1950~60年代にかけてアンディ・ウォーホルがティファニーの顧客のために制作したアイコン的なグリーティングカードをインスピレーションソースに、ウォーホルとティファニーのつながりにスポットライトを当てます。

TIFFANY & Co.

キャンペーンフィルムは、世界で最も有名なアーティストの一人であるウォーホルとティファニーの長きにわたる関係へのオマージュを通して、これらのエレメントを一体化させたものです。」プロダクト&コミュニケーション部門エグゼクティブヴァイスプレジデントを務めるアレクサンドル・アルノーは語ります。



このフィルムは、ウォーホルがアトリエ兼サロンとしたダウンタウンの「ファクトリー」で夜な夜な繰り広げられた豪華絢爛な集いの中で、ギフトを贈り合う精神を称えています。華やかなホリデー装飾、“スーパー8カメラ”で撮影されたシーンのプロジェクション、そしてティファニーのきらめくデザインに彩られた広大な空間で繰り広げられるパーティー、そのホストを務めるのは魅力あふれるヘイリー・ビーバーです。パーティーの参加者が続々と集まってくる中、ビーバーはパーティーの主演として注目を浴びながら、出席するゲストにブルーボックスを手渡します。ゲストたちは、ジャン・シュランバージェのアイコン的な「バードオンアロック」ブローチなど、至高のギフトを交換し合いながら華やかな夜を祝福します。そしてブルーボックスで飾られたクリスマスツリーが、ティファニーならではの唯一無二のホリデーシーンを表現しています。

「このユニークなコラボレーションは、ティファニーとアンディ・ウォーホルの時代を超えたクリエイションを祝うと共に、ウォーホル財団の基金を惜しみなく支援するものです。ウォーホル財団では、これまでにビジュアルアート団体に2億7500万ドルを超える資金を助成してきました。この“ウォーホリデー (Warholiday)” シーズンに、ティファニーと共に、アートが持つ永続的な力に注目を集めることができることを大変嬉しく思っています。」ウォーホル財団のマイケル・デイトン・ハーマンはこのように述べています。

TIFFANY & Co.

ティファニーについて

ティファニーは、1837年にチャールズ・ルイス・ティファニーがニューヨークで創業し、洗練された革新的なデザイン、精巧なクラフトマンシップ、そして卓越した創造性の代名詞としてその名を馳せるグローバルラグジュアリージュエラーです。

ティファニー社とその子会社は、全世界で300店以上の店舗と13,000名を超える従業員を擁し、ジュエリー、ウォッチ、ラグジュアリーアクセサリーのデザインから製造、販売までを行っております。また5,000名を超える卓越した職人たちは、自社工場ダイヤモンドのカットやジュエリー制作に携わりながら、ティファニーが約束する最高品質へのコミットメントの実現に貢献しています。

ティファニーは、責任ある事業活動を行い、自然環境を維持し、多様性と包摂性を優先し、事業を行う地域社会に良い影響を与えることを長年にわたり約束しています。ティファニー社、およびティファニーのサステナビリティに対する取り組みの詳細については、tiffany.co.jpをご覧ください。

アンディ・ウォーホル美術財団について

アンディ・ウォーホルは、20世紀を代表するアメリカ人アーティストとして、世界に向けて、アートの異なる見方を発信してきました。1987年の創設以来、アンディ・ウォーホル財団は、ウォーホルの遺言に従いアメリカにおいて現代美術の主要な資金助成団体としての地位を確立してきました。同財団はこれまでに2億7,500万ドルを超える現金による助成を行い、現代ビジュアルアート、特に実験的で認知度の低い作品、あるいは挑戦的な性質の作品の制作、発表、および記録を支援しています。創設者の創造的遺産の保護・強化のための継続的な取り組みを通して、ウォーホルの独創性に富む開放的な精神が、今後何世代にもわたってビジュアルアートに大きな影響を与えることを確実にしています。今回の企画を始めとするライセンスプロジェクトから同財団が受け取る収益は、分配される助成金の資金源となる同財団の基金に寄与しています。www.warholfoundation.org。

@tiffanyandco #ATiffanyHoliday

お客様のお問い合わせ先
ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク